

2022年12月8日
一般社団法人 日本船主協会

池田会長による海上保安庁長官への訪問について

12月7日、池田会長、森重理事長が海上保安庁を訪れ、海上保安庁長官に対し、海賊対処行動に対する感謝の意を伝えました。

日本船主協会では2019年まではジブチ共和国への代表団による訪問並びに、東京での「海賊対処行動感謝の集い」を開催し、感謝の意を伝えておりました。

2020年からは、新型コロナウイルス禍により、これら活動が実施できず、代わりに、東京での訪問を行っているものです。

初めに、池田会長より、わが国外航海運の安全・安心をこれまで担保してきた海上保安庁の隊員の皆様が取り組む海賊対処行動に関する謝意を石井昌平長官に対し伝えると共に、41次隊長および42次隊長として派遣されていた海上保安官に対し感謝状を手渡しました。

石井長官からは来訪についての謝意を表明され、国際刑事課長時代は海上保安庁としてソマリア沖の海賊対処にどう取り組むか悩んだが、近年海賊が激減したことに至り、本当にここまで来たのだと感慨深い思いだと述べられました。

また、海上保安庁では、多くの職員がこの任務を経験できるよう、派遣隊員を全国から集めており、夏は40度を超える気温の現場であることに加え、海上保安官として経験することの少ない長期航海になってもしっかりと任務を遂行し、シーレーンの確保という職責を果たしていることを紹介されました。

会長からは派遣隊員および海上保安庁への感謝の意を改めて伝え、現在派遣中の隊員には2023年にジブチで直接感謝の言葉を伝えたいと述べました。



池田会長、第41次隊長塚原隊長、第42次隊長船橋隊長、石井長官



懇談の様子



前列左から 藤橋会長秘書、池田会長、第41次隊塚原隊長、第42次隊船橋隊長、石井長官、森重理事長、平尾海務部長
後列左から 西田隊員、玉城隊員、今村隊員、平塚隊員、山田副隊長、野口隊員、宇山隊員、田中隊員